

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの本財団の事業について、次の通り報告する。

概要

当財団は、次代を担う子ども及び青少年の健全育成・福祉の増進に資すること並びに県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与することを目的として、平成23年4月1日に設立され、平成25年4月には公益財団法人の認定を受け、公益性の高い各種事業の展開により地域社会に貢献している。

法人設立12年目、公益認定10年目となる令和4年度においても、引き続き青少年健全育成事業、文化の振興に関する事業、埋蔵文化財の保護及び調査に関する事業などを、相互の連携のもと実施するとともに、県有施設である「栃木県総合文化センター」「栃木県子ども総合科学館」「栃木県立とちぎ海浜自然の家」「栃木県立なす高原自然の家」の指定管理者として、また「栃木県埋蔵文化財センター」の管理業務受託者として、各施設の機能を最大限に発揮できるよう適切な管理運営等に務めた。

しかしながら、ここ3年に渡る新型コロナウイルス感染症は、令和4年度においても各施設の利用状況に大きな影響を及ぼした。前年度比では大幅な回復を示したものの、コロナ禍前の例年ベース比では未だ完全な回復には至っていない状況である。

さらに、ウクライナ危機や円安に伴う資源高により光熱水費が高騰し、各施設の運営に大きく影響が及んだが、県から「栃木県エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金」の交付を受けたところである。

5月8日からは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に変更され、様々な制限が緩和されているが、各施設の利用者の受入れ及び事業の実施に当たっては、引き続き利用者の安心安全を最優先に運営に努めていく。

I 事業の状況

A. 次代を担う子ども及び青少年の健全育成並びに福祉の増進に資する事業

1 青少年健全育成事業【栃木県青少年育成県民会議事業】（公益事業1）※参考資料1参照

(1) 市町村民会議との連携強化、住民啓発促進に関する事業

関係者が一堂に会する全体連携会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としていたが、令和4年度は3年ぶりに開催し、市町村民会議や青少年関係団体等との連携強化を図った。

また、県・市町・団体等の実施する青少年育成事業に共催や後援を行ったほか、参加することにより連携を深めた。

ア 青少年育成市町村民会議支援

- ・市町村民会議の組織強化、活動支援

イ 青少年育成指導員活動支援

- ・育成指導員の活動支援
- ・内閣府主催研修会への推薦

ウ 啓発資料作成

- ・「青少年とちぎ」の発行
- ・県民運動啓発物品等の作成

エ 青少年育成団体連携

- ・各青少年育成関係団体との連絡調整

- ・県、市町、団体等の実施する青少年育成関連事業への共催、後援及び参加

(2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業を行い、青少年の健全育成を図った。

- ア 少年の主張発表大会（中学生 12, 337名参加）
 - ・地区大会への助成（8地区）
 - ・県大会の開催（9月17日（土）サブホール 地区代表16名）
 - ・全国大会への推薦（本県代表 第3位相当の国立青少年教育振興機構理事長賞受賞）
- イ 青少年育成県民会議表彰
 - ・青少年育成に功績のあった団体、個人等の表彰（10団体、26名）
 - ・永年（20年）賛助会員への感謝状の贈呈
- ウ 親子学び合い（ネット時代の歩き方講習会）事業
 - ・ネット時代をよりよく歩いていくために必要な力や環境づくりについて考える講習会を小中学校等で開催（99校 児童生徒8, 456名、保護者3, 599名受講）
- エ 親子学び合い講師フォローアップ研修
 - ・講師養成講座を修了し、「とちぎネット利用アドバイザー」として認定した者を対象としてステップアップのための研修を開催（4回）
- オ 青少年育成セミナー（新規事業）
 - ・青少年育成関係者を対象に、青少年問題の現状や課題について考えるセミナー開催（4回）

(3) 「とちぎ心のスクラム県民運動」推進事業

青少年育成運動の一層の推進を図るため、県や市町、教育委員会、県警察本部、子ども会、PTAなど関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図った。

- ア 県民運動推進
 - ・心豊かな青少年を育む「県民のつどい」開催（2月4日（土） 220名参加）
- イ 「家庭の日」推進
 - ・「家庭の日」絵日記コンテストの実施（1, 243点応募）
 - ・入賞作品の展示（県立博物館、子ども総合科学館、ミナテラスとちぎ）
 - ・啓発カレンダー及びポスターの作成

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業（公益事業1） ※参考資料2参照

子どもの科学への関心を高める魅力的な事業展開を図り、科学技術普及啓発施設としての役割を果たすとともに、学校や児童館との連携を強化し、大型児童館として県内児童館への技術支援や連携事業など実践的な活動を行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続きサーマルカメラによる検温や手指消毒、展示場及びプラネタリウムにおいて密を避けるために入場者数を制限するなどの措置をとった。

なお、新型コロナウイルス感染症に職員等6名が感染したため、令和4年(2023)年4月12日（火）～4月14日（木）の3日間、屋外施設を含む全施設を臨時休館とした。

	令和4年度	令和3年度	対比(%)
総利用者数	500,622人	400,600人	125.0
有料入館者数	227,804人	159,809人	142.5
収入金額（税込）	62,051,080円	43,066,360円	144.1

(1) 展示場の運営および各種教室の実施に係る事業

ア 展示場等の運営

展示品の解説、サイエンスショーによる科学現象の紹介などを実施した。

イ 企画展の開催

a 第81回企画展「科学でスポーツ・いちご一会」

令和4年(2022)年7月23日(土)～8月28日(日)

国民体育大会「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」(2022年10月開催)の機運を盛り上げるため、スポーツやその用具に注目した企画展を開催した。

b 第82回企画展「記録と再生の科学 ～みらいくんの記録と再生博物館(ミュージアム)」

令和5年(2023)年3月18日(土)～4月5日(水)

身の回りにある記録(音や画像)に着目し、音声および画像の記録・再生技術を紹介しその変遷をたどるほか、科学館の過去の企画展を紹介するアーカイブ展示を行った。

ウ 科学技術コンクール ～ロボット・チャレンジ 2022～(11月6日(日))

ものづくりを楽しみ、達成感を味わう機会とし、青少年を対象に、自作ロボットによる競技会を行った。前年度に引き続き、対戦型ではなくタイムレースの競技とし、一部障害物を変更して実施した。

エ 各種教室の実施

「科学工作教室」、「ミニ工作」、「移動科学教室」、「出張サイエンスショー」などを当初の計画日程にそって実施した。

(2) プラネタリウム及び天文台の利用に係る事業

ア プラネタリウムの投影

宇宙人の存在を現代科学的に考える当館オリジナル番組のほかに、ブラックホールや惑星探査機等に関する一般向け番組を年間4本、当館オリジナル番組で、未来くんと宇宙飛行士について紹介する内容等の年少向け番組を年間2本投影した。

また、天文学習の支援をねらいとした学習番組や、「星空さんぽ」、「星と音楽のひととき」などのライブ特別番組を投影した。

イ 天文台の利用

天文台を利用して土・日曜日の夜を中心に「星をみる会」を年間22回実施した。また、昼間でも見ることのできる天体や太陽の観察を行う「天文台公開」を22回実施した。

ウ その他天文普及活動

皆既月食などの天文現象を観察する天文教室を2回、小型望遠鏡を作り、星空を観察する天文工作教室を年間2回実施した。なお、皆既月食に関しては、ライブ配信も行った。Web配信及び、新聞などのメディアへ天文情報を提供することにより広報普及を行った。

(3) 児童厚生施設としての利用に係る事業

ア 体験・育成事業

日常的なあそびのプログラムとして「工作のテイクアウト」のほか、毎月1回「おしごとラボカンパニーまんすりー」や「パズルの日」、「おりがみであそぼう」(実施主体おりがみボランティア)を時間制、定員制など感染症対策を講じながら実施した。さらに、屋外を利用した人気の恒例事業「忍者道場」、「ウォーターバトル」など体をつかう遊びのほか、「にちようびじゅつ部～七色土玉でうつわをつくろう～」といった造形活動を特別プログラムとして行った。また、子育て支援プログラムとして、未就園児の親子を対象とした「まめっこタイム」を毎月2回実施した。

イ 県内児童健全育成団体等への援助・指導、連絡調整等の事業

県内の児童館、放課後児童クラブ、子育てサークル等への「あそびの出前」については、前

年度に引き続き内容を感染症拡大防止に配慮した1プログラムを提供により18団体で実施した。

県内児童館と共同でプログラムをおこなう「あそびの連携事業」については、5団体で実施した。

児童館普及啓発事業として児童館PRを目的に「とちぎのじどうかん展『あおぞらじどうかん』」を実施した。内容は栃木県児童館連絡協議会加盟の延べ22館の協力を得て、『あそびのひろばmini』『工作のテイクアウト』『児童館活動写真展じどうかんですまいるきゃっち』を展開した。

また、栃木県児童館連絡協議会事務局として、遊具貸出をはじめ県内児童館の活動支援や連携強化事業を実施するとともに、県内の児童館・放課後児童クラブへの情報提供や指導員等の資質向上のための研修事業などを、感染症拡大防止に努めながら実施した。

ウ 乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理

変わり種自転車貸し出し、ミニ機関車の運行とそれらの点検・整備等を実施するとともに、屋外遊具の安全点検を行った。なお、運営の際には、感染症対策を講じて行った。

(4) 大規模改修に向けての準備

展示実施設計の内容確認や企業との打ち合わせ、展示業者の現地調査対応等を県の依頼に応じて実施した。

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業（公益事業1） ※参考資料3参照

栃木の子どもたちに海の自然や文化に触れさせる「海の分教場」、幅広い利用者に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」としての役割を果たし、「とちぎの海のふるさと」として県民に愛される施設を目指した管理運営を行った。

なお、大規模改修工事のため、令和5年1月から6月まで休所とした。

	令和4年度	令和3年度	対比(%)
延利用者数	39,599人	26,887人	147.3
収入金額(税込)	35,387,579円	24,151,557円	146.5

(1) 臨海自然教室事業

実施時期：年間

対象：栃木県内の小学校、県立盲・聾・特別支援学校(小学部)の児童

延べ利用者数：27,873名(昨年度利用者数：16,217名)

内容：栃木県の小学5年生を対象に、海辺での集団宿泊や自然活動など、様々な体験的な学習を教育活動の一環として実施した。また、活動プログラムの提供を行うとともに実施に当たっての指導助言などを行うことにより、安全に有意義な体験活動が行えるよう支援した。

(2) 各種団体受入事業

実施時期：年間随時

対象：学校、企業、各種団体等(視察を含む。)

延べ利用者数：11,726名(昨年度利用者数：10,670名)

内容：県内外の学校教育・社会教育団体や企業等を受け入れ、研修、交流活動、家族の触れ合い活動等を支援した。また、施設・備品等の貸出しや活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより、安全に有意義な生涯学習活動が行えるよう支援した。

(3) 主催事業

周辺の自然環境を活かし、教育施設としての目的に合致した企画事業を実施した。

全10事業、総参加者数：925名（昨年度参加者数：720名）

- ・海浜メロン狩り
- ・海浜夏まつり
- ・目指せ！釣り名人 ほか

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業（公益事業1） ※参考資料4参照

山の自然や文化に触れさせる「山の分教場」、那須高原に位置する「生涯学習施設」として、周辺の豊かな自然を活用した青少年の団体宿泊学習や県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全育成と生涯学習の振興を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症予防対策として、所内の換気の徹底や3密を避け宿泊室や浴室の定員制限などを行った。また、利用者・職員の健康に留意するとともに、継続して利用者には検温、消毒、マスクの使用を依頼した。

	令和4年度	令和3年度	対比(%)
延利用者数	25,376人	15,322人	165.6
収入金額（税込）	20,727,930円	12,001,540円	172.7

(1) 各種団体受入事業

栃木県内外の学校、社会教育団体等に研修の場を提供した。また、施設、備品等の貸出し、活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより安全で有意義な生涯学習活動が行えるよう支援した。

期日：通年

対象：研修を目的とした団体・グループ

内容：登山・ハイキング、野外・自然体験活動、スポーツ・レクリエーション活動、創作活動、調理活動、その他の活動

延べ利用者数：25,376名（昨年度利用者数：15,322名）

(2) 主催事業

周辺の自然環境を活かし、社会教育施設としての目的に合致した企画事業を実施した。

全10事業、総参加者数：316名（昨年度参加者数：254名）

- ・ふれあい登山教室 in 那須連峰
- ・こどもチャレンジキャンプ
- ・ふれあい広場 ほか

B. 県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与する事業

5 文化の振興に関する事業（公益事業2） ※参考資料5参照

県民文化の振興と文化活動の支援のため、良質な舞台芸術の鑑賞事業と県民の文化活動への参加・創造・交流事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響が依然として厳しい状況ではあったが、感染症の影響で中止となった事業は前年度より大幅に少なかった。

予定：42事業75公演 実施：38事業64公演 中止：4事業11公演

(1) 自主財源による文化事業

財団主催の各種文化事業及び民間事業団体等との各種共催事業等を実施する。

ア 主催事業

- ・古典芸能三人会～栃木県文化功労者の舞台～
- ・平日の贈り物♪ランチタイムコンサートシリーズ 全5回
- ・人形劇団ひとみ座公演「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」 ほか

イ 共催事業

- ・劇団四季ミュージカル「ロボット・イン・ザ・ガーデン」
- ・宮田大&ジュリアン・ジェルネ デュオ・リサイタル
- ・反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ
- ・辻井伸行ピアノ・リサイタル ほか

(2) 栃木県補助金等による文化事業

ア 鑑賞型事業

- ・藤田真央(Pf)プレイズ・モーツァルト with オーケストラ・アンサンブル金沢

イ とちぎ舞台芸術アカデミー（参加創造交流型文化事業）

- ・第2回栃木県新人音楽家演奏会 -未来にはばたけ とちぎの音楽人-
- ・第26回『コンセール・マロニエ21』（声楽部門）
- ・学校訪問演奏会『音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！』（下都賀・安足地区）ほか

ウ 受託事業

- ・「アーティストバンク・とちぎ」設立・運営事業
(登録者数 団体24組 個人154名)

6 埋蔵文化財の保護及び調査研究に関する事業（公益事業3） ※参考資料6参照

埋蔵文化財の保護及び調査研究のための発掘調査事業を実施するとともに、栃木県埋蔵文化財センターの管理運営事業を行った。

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業

栃木県及び国、県内市町からの委託を受け、開発地内等の埋蔵文化財の発掘調査事業を実施した。

※ 発掘調査及び整理事業件数 13件

ア 栃木県からの受託事業

- ・いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト／侍塚古墳（大田原市）
- ・道路整備事業／城ノ内遺跡（上三川町） ほか3件
- ・農地整備事業／小泉分校裏遺跡（益子町） ほか1件
- ・重要遺跡等範囲確認調査（小山市）
- ・県施設整備事業／下津原古墳群（栃木市）

イ 国からの受託事業

- ・国道整備事業／塚原遺跡・塚原古墳群（矢板市）

ウ 市町からの受託事業

- ・栗宮新都心区画整理事業地内遺跡（小山市）
- ・佐野市遺跡詳細分布調査（佐野市）
- ・塩谷町遺跡詳細分布調査（塩谷町）

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理運営事業

栃木県からの委託を受け、埋蔵文化財センターの施設維持管理を行うとともに、埋蔵文化財の保存・活用及び埋蔵文化財に関する知識の普及に関する事業を行った。

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

遺物・図面・写真等の貸出や「埋蔵文化財センターだより」（年2回）・「壁新聞」（年1回）・「とちぎ発掘調査成果情報誌」（年1回）を発行した。

イ 埋蔵文化財に関する普及・啓発

発掘調査報告会、現地説明会の開催、学校等の施設見学及び出前事業、発掘調査体験や勾玉作りなどの各種体験、埋蔵文化財センターの特別公開、常設展示及び特集展示、発掘調査速報展、県庁本館ミニ展示、講演会、各種講座の開催等を通じて、広く県民に埋蔵文化財保護の重要性及び、その保存・活用についての理解や関心の向上に努めた。

ウ 研修

教員や生涯学習担当職員を対象とした埋蔵文化財活用のための基礎講座を実施した。

エ 埋蔵文化財等出土品の保管・管理

オ 埋蔵文化財調査記録の保管・管理

カ 図書の整理・管理

7 栃木県総合文化センター管理運営事業（収益事業） ※参考資料7参照

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの利用受付・打ち合わせ、利用者及び来館者サービス事業、施設維持管理業務、危機管理対策及び事業評価を行った。

	令和4年度	令和3年度	対比(%)
利用率			
メインホール	61.8	50.8	11.0
(%) サブホール	73.8	56.1	17.7
ギャラリー	59.1	49.8	9.3
会議室	59.7	52.6	7.1
利用料金収入(税込)	129,414,980円	102,104,990円	126.7
らくらくサービス収入(税込)	11,432,110円	5,606,945円	203.9

(1) 施設利用受付・打ち合わせ業務

ホール、ギャラリー、会議室、各種練習室等の利用受付及び打ち合わせを行なった。

(2) 利用者及び来館者サービス業務

催し物案内の発行、ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告、広報活動を行なった。

施設利用のアドバイスのほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施した。

(3) 施設の維持管理業務

利用に支障が生じないよう各種設備の保守点検を定期的に行うとともに、快適な館内環境を維持するため関連設備・備品等の適切な管理を行なった。また、必要に応じ工事及び修繕を行った。

(4) 危機管理対策

来館者の安全を守るため、防災設備等の保守点検及び消防訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルの点検を行った。

また昨年度から継続して、新型コロナウイルス感染症対策を行った。メインホール客席や手すり、メインホール・サブホールの客席扉把手など、不特定多数の方が直接手を触れる部分に抗菌コーティング処理を文化庁の補助金を活用し実施した。感染状況及びそれに応じた業種別感染予防ガイドラインに準拠した対応を行った。

(5) 事業評価

利用者に快適に利用いただくための事業評価を実施し、更なるサービス向上に努めた。

(6) 大規模改修後の対応

施設の適切な維持管理を行うことを目的として、大規模改修工事に続く中長期修繕計画を策定し、県に提出した。中長期修繕計画に基づき、県工事実施の必要性について、積極的に提案を行った。

C. 広報活動に関する事業

- ・新聞や情報誌等広報媒体を活用し、施設や財団事業案内の広報を行った。
- ・財団発行の広報誌による活動として、「青少年とちぎ」（年2回発行）や「イベントカレンダー」（年6回／総合文化センター）、「埋蔵文化財センターだより」（年2回／埋蔵文化財センター）などを発行し、関係機関及び県民に配布した。
- ・インターネットによる活動として、各事業所で独自にホームページ及びSNSを活用して情報発信をするとともに、財団ホームページにも各事業所の更新情報を掲載したほか、総合文化センターの事業等の最新情報を、メールマガジンにて、毎月1回1,063名の登録者（3月31日現在）に発信した。

D. その他目的を達成するために必要な事業

- ・県内23の公立文化施設で構成する栃木県公立文化施設協議会の運営事務局として、全国他県の動向など、各種情報の提供及び管理・技術関係の研修会を開催するなど、県内の公立文化施設の運営に関して指導・助言を行った。
- ・子ども総合科学館においては、県内42児童館により構成される栃木県児童館連絡協議会の事務局として、児童館相互及び児童館職員間の連絡・交流活動、全国の動向などの情報提供、児童館運営や職員の資質向上に関する各種研修会の開催などを行った。
- ・埋蔵文化財センターにおいては、前年度に引き続き、全国47の埋蔵文化財法人で構成する、全国埋蔵文化財法人連絡協議会に所属し、関東ブロック副会長館として活動した。

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

令和4年度中における役員等の異動は、次のとおりであった。

(1) 理事の異動状況

① 就任

氏名	就任年月日	備考
千金楽 宏 野中 正知	令和4年4月1日 令和4年4月1日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長 公益財団法人とちぎ未来づくり財団常務理事兼 事務局長
池澤 真司 萩原 英樹	令和4年4月1日 令和4年4月1日	栃木県総合文化センター館長 栃木県県民生活部次長兼県民文化課長

② 退任

氏名	退任年月日	備考
萩原 英樹	令和5年3月31日	栃木県県民生活部次長兼県民文化課長
星野 肇	令和5年3月31日	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
金田 繁夫	令和5年3月31日	栃木県埋蔵文化財センター所長

(2) 監事の異動状況

① 就任

氏名	就任年月日	備考
金田 道太	令和4年6月24日	足利銀行県庁内支店長

② 退任

氏名	退任年月日	備考
齋藤 一寿	令和4年6月24日	足利銀行本店営業部融資統括部長

(3) 評議員の異動状況

① 就任

氏名	就任年月日	備考
中村 耕作	令和4年4月1日	国立歴史民俗博物館研究部准教授
中谷 一彦	令和4年4月1日	栃木県教育委員会事務局教育次長（管理）
野原 恵美子	令和4年4月1日	栃木県県民生活部長

② 退任

氏名	退任年月日	備考
中谷 一彦	令和5年3月31日	栃木県教育委員会事務局教育次長（管理）

2 役職員数に関する事項

(令和5年3月31日現在)

(1)役員等

役職名	常勤	非常勤	計
理事長	1		1
常務理事	1		1
理事		8	8
監事		2	2
評議員		9	9
計	2	19	21

(2)職員

所 属	職 名	県派遣職員	財団職員	財団嘱託員 臨時職員	計	備 考
本部事務局 (栃木県総合 文化センター を含む)	事務局長				0	(常務理事兼務)
	館長				0	(理事兼務)
	事務局次長		1		1	
	副館長		1		1	
	副主幹兼課長	1	3		4	
	副主幹		1		1	
	係長		2		2	
	主任		3		3	
	主事		6		6	
	常勤嘱託員				7	7
	非常勤職員				2	2
臨時職員				2	2	
	小 計	1	17	11	29	
栃木県子ども 総合科学館	館長		1		1	
	副館長	1			1	
	副主幹兼課長		3		3	
	課長	1			1	
	副主幹		1		1	
	主査	3	2		5	
	主任		3		3	
	主事	1	3		4	
	常勤嘱託員				6	6
	非常勤職員				20	20
	臨時職員				2	2
	小 計	6	13	28	47	

所 属	職 名	県派遣職員	財 団 職 員	財 団 嘱 託 員 臨 時 補 助 員	計	備 考
栃木県立とちぎ海浜自然の家	所 長		1		1	
	副所長兼課長		1		1	
	課 長	1			1	
	主 任	2			2	
	指導主事	7			7	
	指 導 員		9		9	
	常勤嘱託員			3	3	
	臨 時 職 員			2	2	
	小 計	10	11	5	26	
栃木県立なす高原自然の家	所 長		1		1	
	副 所 長	1			1	
	副 主 幹	1			1	
	社教主事	2			2	
	指導主事				0	
	主 任				0	
	指 導 員		2		2	
	常勤嘱託員			4	4	
	小 計	4	3	4	11	
栃木県埋蔵文化財センター	所 長				0	(理事兼務)
	副所長		1		1	
	副主幹兼課長		4		4	
	副 主 幹		6		6	
	主 任		2		2	
	常勤嘱託員			9	9	
	臨 時 職 員			10	10	
		小 計	0	13	19	32
合 計		21	57	67	145	

3 理事会及び評議員会の開催状況

(1) 理事会

開催年月日等	議 事 事 項	会議の結果
第42回理事会 令和4年4月1日 (決議の省略)	理事長1名選定の件 常務理事1名選定の件	可決(賛成10)
第43回理事会 令和4年6月9日	第1号議案 令和3年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団事業報告について 第2号議案 令和3年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支決算報告について 第3号議案 役員の候補者について 第4号議案 第28回評議員会の招集及び提出議 題について 報告 職務の執行状況について	可決(賛成8) 可決(賛成8) 可決(賛成8) 可決(賛成8)
第44回理事会 令和4年12月6日	報告第1号 職務の執行状況について 第1号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支補正予算案について 第2号議案 第29回評議員会の招集及び提出 議題について	可決(賛成10) 可決(賛成10)
第45回理事会 令和5年3月7日	第1号議案 令和5年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団事業計画案について 第2号議案 令和5年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支予算案について 第3号議案 評議員及び役員の候補者について 第4号議案 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 規程の一部改正について 第5号議案 第30回評議員会の招集及び提出議 題について	可決(賛成9) 可決(賛成9) 可決(賛成9) 可決(賛成9) 可決(賛成9)

(2) 評議員会

開催年月日等	議 事 事 項	会議の結果
第28回評議員会 令和4年6月24日	報告第1号 令和3年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業報告について 第1号議案 令和3年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支決算報告について 第2号議案 役員の選任について	可決（賛成10） 可決（賛成10）
第29回評議員会 令和4年12月20日	報告第1号 令和4年度上半期公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業報告について 第1号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支補正予算案について 第2号議案 役員の報酬等について	可決（賛成7） 可決（賛成7）
第30回評議員会 令和5年3月27日	第1号議案 令和5年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画案について 第2号議案 令和5年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支予算案について 第3号議案 評議員及び役員の選任について 第4号議案 役員の報酬等について	可決（賛成9） 可決（賛成9） 可決（賛成9） 可決（賛成9）

4 寄付金に関する事項

寄附の目的	寄附者	寄附申込額	領収金額	備考
青少年健全育成活動推進	菊池宏行 氏	500,000	500,000	
青少年健全育成活動推進	栃木県更生保護女性連盟	100,000	100,000	
青少年健全育成活動推進	「とちぎ教育の日」実行委員会	560,864	560,864	
計		1,160,864	1,160,864	

事業報告付属明細書

令和4年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。